

図書ボランティア交流会 ワーク「活動の喜び、悩み、解決のアイデア」

と き 令和3年12月11日(土) 14時～16時

場 所 有明総合文化会館 視聴覚室

【ワークの概要】

ながさきファミリープログラムファシリテーターの進行でワークを行った。4グループに分かれ、まず、グループ内で、それぞれ1分ずつ、お気に入りの本の紹介をしながら自己紹介を行った。その後、図書ボランティア活動を行ってうれしかったこと、困ったこと、その対応のアイデアの順で、付箋にそれぞれ考えや思いを書いて、模造紙に貼り、考えの共有や意見の交換を行った。模造紙が付箋でいっぱいになったところで、模造紙を他のグループと交換し、さらに意見を述べ合った。最後に、グループの代表者が感想を発表した。

【ワークで出た意見】

よかったこと、うれしかったこと

- ◇ ショッキングな終わり方のお話を読んだとき、子どもたちが息をのんで時間が止まったこと。みんなでその世界に行ったようで。
- ◇ 絵本を読むとき、キラキラした子どもの目をみると、嬉しくなります。
- ◇ 疲れていても、絵本を手にとるとほっとする。
- ◇ コロナでも読み語りを継続できた。
- ◇ 子どもたちから元気をたくさんもらえること！
- ◇ お母さん同士つながれる。
- ◇ 図書ボランティア講習会で、絵本についての知識をいただきました。
- ◇ 週末はリモートジャック計画中！
- ◇ たくさんの絵本を知ることができた。
- ◇ 子育てにたくさんアドバイスをいただきました。
- ◇ いろいろな年齢のお知り合いが増え、たくさんいろんなアドバイスをいただきました。
- ◇ 楽しい絵本を知り、子どもと一緒に味わうことができました。
- ◇ 絵本は素晴らしい！
- ◇ 孫といっしょに参加できた。
- ◇ 子どもたちから通りすがりでも手をふってもらえる。

- ◇ 昔読んでいた絵本を再び手に取って、子どもたちと読んでいた時間が楽しかったなあ…と。
 - ◇ 自分が読み語りした本に子どもたちが興味を示してくれること。
 - ◇ うちの子が、「読んでもらった本がほしい！ほしい！」と言っていたと、お母さんから言われたこと。
 - ◇ コロナだけど、メンバーに会えた！
 - ◇ 先日、小学校で6年生を招待して「肝試し大会」をして大成功！
 - ◇ 子どもたちが夢中になってお話を聞いてくれること。
 - ◇ 7月の「かわいお話し会」で、子どもたちにたくさん会えた！！
 - ◇ 子どもたちから笑顔をたくさんもらいました。
 - ◇ 地域の子どもたちと仲よくなれる。
 - ◇ 新しい絵本を一番先に借りることができた。
 - ◇ 子どもたちと絵本を楽しむ時間は至福のひとつです。
 - ◇ 自分の子どもたちも、楽しみにしてくれる。「今日はどこ〜？」
 - ◇ 絵本の世界を子どもたちと一緒に楽しめること。
-
- ◇ イベントにたくさんの方がきてくれたこと。
 - ◇ おはなし会にたくさんの方がきてくれたこと。
 - ◇ 本の感想を教えてくれたこと。
 - ◇ 調べものにきて、本を案内したら、喜んでくれたこと。
 - ◇ 子どもの友達や先生におぼえてもらえる。
 - ◇ ボランティアを通じて、人とつながることができたこと。
 - ◇ 先生方とのコミュニケーションがとれて楽しい！
 - ◇ 中学校でちょっと元気がいい子たちも静かに聞いてくれる。
 - ◇ 学校であったことなど、いろいろ話に来てくれること。
 - ◇ 子どもの学校での様子をみるができること。
 - ◇ 子どもが絵本を音読するようになった。
 - ◇ 子どもたちが静かに読み聞かせを聞いている姿勢がすばらしい。
 - ◇ 図書ボランティアで同学年とは別の親や先生方との交流ができた。
 - ◇ 子どもたちから元気パワーをたくさんもらえる！
 - ◇ 年に1回の寸劇を喜んでくれて、今度、中学校でもやって〜！と言われた。
 - ◇ 読書数が増えた（学校全体で）。
 - ◇ 子どもたちの笑顔をみるとほっとする。
 - ◇ 知らなかった絵本と出会えた。
 - ◇ 図書館へ行く機会が増えた。
 - ◇ 自分の知らない図書・本への関心が広がる。
 - ◇ イベント毎の物づくりに参加させていただいて喜んでもらえたこと。
 - ◇ 中学生になっても読み聞かせを聞いてくれる子どもたちの素直さ。
 - ◇ 読み聞かせをする方への敬意。とてもすごい！！
 - ◇ 1年生の読み聞かせに入ったとき、「今度、100冊読んで〜」と言ってもらった。

- ◇ 中学校でちょい悪の子が挨拶をしてくれる。
- ◇ 絵本が好きになった。

- ◇ みやにしたつや先生に出会えたこと。
- ◇ たくさんの方と知り合えたこと。
- ◇ 子どもたちとの触れ合いの時間をもてること。
- ◇ 授業参観では見ることができない子どもの様子を見ることができた。
- ◇ お友達ができたこと。
- ◇ 知らなかった絵本とたくさん出会えたこと。
- ◇ 子どもたちの反応があったとき。
- ◇ 子どもが祖父や父親と参加している。
- ◇ 本を選ぶとき悩むが、それも楽しい。
- ◇ 自分の子どもと違う学年の子どもが声をかけてくれた。
- ◇ 初めておはなし会に来てくれた子が、次回も続けて参加してくれる。
- ◇ おはなしを読んで、聞いている子が反応してくれるとき。「○○だ～」など。
- ◇ 読み聞かせをした本を借りてくれたとき。
- ◇ 子どもたちと接すること。
- ◇ 絵本を読むことができる。
- ◇ 図書室が明るくなっていくことに自分も参加できてうれしい。
- ◇ 他の学年のお母さんたちと知り合いになれた。
- ◇ 自分が知らない絵本に出会えた。

- ◇ 1回の読み聞かせでも覚えていて、他のところでも、声をかけてくださるとき。
- ◇ 子どもたちの笑顔がうれしかあ！
- ◇ 赤ちゃんが本を見て喜ぶ姿を見て、親が感動するとき。
- ◇ 本を通じて、子どもたちとの会話が増えた。
- ◇ 子育ての相談もできる。
- ◇ 図書ボランティアの仲間と楽しい時間を過ごせる。
- ◇ 自分自身も童話の世界、夢の世界、感謝です。
- ◇ 子どもたちから声をかけてもらえる。
- ◇ 笑顔をもたらったとき。
- ◇ 素敵な知らない本に出会える。
- ◇ 家でも本を読むようにしたいと親が言ってくれたとき。
- ◇ 聞いているうちに前のめりになってくる子どもがいたとき、読んでよかったなと思い、うれしい！
- ◇ 同じ絵本でも学年が上がると反応や感想の違いがあり、子どもたちの成長が感じられてうれしい。
- ◇ いつまで話せるか、ガンバロー
- ◇ 小学生の子どもたちが、地域であったとき「おはなしのおばさん」と声をかけてくれたとき。
- ◇ 親が小さい赤ちゃんでも、絵本を見て喜ぶということに気づいてくださったこと。

- ◇ 赤ちゃん向けのおはなしの時間に大人も参加して楽しいと言ってくれたとき。
- ◇ おもしろい本を見つけたとき、うれしい！
- ◇ その本、どこで見つけたの？と自分でも探しに行こうとしてくれることがうれしい。
- ◇ 私は私が楽しい。
- ◇ おもしろい本を読んだときの、子どもたちの反応と、笑い声、笑顔を見られた時がうれしい。
- ◇ 校外でも、図書ボラのおばちゃんだ！！と声をかけてもらえる。

困っていること

- ◇ 子どもたちの本の取り扱いが乱暴で、修繕が追いつかない。
 - ◇ 参加してくれる子どもが少ないヨ～（泣）
 - ◇ 怖い話を娘が嫌がります。楽しめるようなアドバイスができればと思うのですが…。
 - ◇ 早くフェイスガードやマスクなしでお話がしたい！
 - ◇ 自分の子どもより上の学年だと何を讀もうか悩みました。
 - ◇ コロナでマスク、息苦しくて、うまく本が読めません。
 - ◇ コロナでボランティアメンバーと対面で会うことが少ない。
 - ◇ 図書館でやっているおはなし会は、年齢層に幅があり（0歳児から小学低学年）、選書するとき、大変難しい。
 - ◇ 公民館でやっているおはなし会は自由参加の子どもはゼロで、学童さんのみしか来ない。
 - ◇ 子どもたちも土曜日は忙しいのか、参加者がゼロということもある。
 - ◇ メンバーの高齢化（笑）
 - ◇ うちの孫がおとなしく聞いていない（汗）
 - ◇ 図書館のおねえさんに頼りっぱなしで…。自立しないと…とは思っているのですが…。
 - ◇ 中学生が前のめりになって聞いてくれる本を教えてください。
 - ◇ 図書館の飾りつけもしています。ルールなどありますか？
 - ◇ 学校の先生（特に男の先生）が朝の読みかたりに協力的でないことがある。
-
- ◇ コロナの流行によりリモートでの読み聞かせ案も出たが、叶いにくい状況。著作権の問題。
 - ◇ 本が古くなってきているので、修理をしたいが、なかなか時間がないので難しい。修理が後回しになってしまう。
 - ◇ 司書の方との連携が上手くとれず、図書ボランティアメンバーだけで動けなかった。
 - ◇ 読み聞かせに昔より人が集まらなくなってきた。
 - ◇ 中学生に読む本選び。
 - ◇ 読み聞かせの際、参加者の年齢がバラバラなので、絵本を選ぶのが難しい。
 - ◇ 図書ボランティアに参加して下さる若いお母様が少ない（今年は0Bばかり）。
 - ◇ 朝の読み聞かせの時、子どもたちの机や椅子を動かしたほうがいいか、そのままでもいいのか…。
 - ◇ 戦争に関する絵本が難しい（選ぶのが）。

- ◇ 担任の先生がフォローしてくださらないときの、終わり方。
 - ◇ 本に入る前のお話や、読み終えた後にかける言葉がうまくできなくて悩んでいます。
 - ◇ 朝の読み聞かせは10分なので、ちょうどいい長さの本をみつけるのに苦労します。
 - ◇ 人権週間で読んであげる本の選び方が難しい。
 - ◇ 高学年の聞きたい絵本が分からなくて悩みます。
-
- ◇ 地域での読み聞かせの開催時間や曜日など難しくなっている。
 - ◇ お題を出されたときの選書（人権、平和）。
 - ◇ ボランティアが増えない。
 - ◇ 読み聞かせメンバーがぎりぎりの人数なので、いつも足りるか心配です。
 - ◇ 平日、なかなか集まれません。
 - ◇ 本選び。
 - ◇ 色々な方とうまくやっていかなければいけないこと。
 - ◇ 赤ちゃんに読み聞かせをする時はどうすればいいか悩む。
 - ◇ 本の選び方。
 - ◇ グループメンバーの募集。
 - ◇ 読み聞かせをする本を選ぶとき悩む。対象年齢や本の内容、読む時間など考えてしまう。
 - ◇ テーマに沿った本を探すとき、すぐに見つけれない…。
 - ◇ 参加する子どもの年齢差。
-
- ◇ 思いっきり笑う、こそこそ…、ひろひそ…、しながら聞いてね。
 - ◇ みんな、かしこまらないてください。
 - ◇ 自然な気持ちで話をきかせてほしい。静かにできなくてもよい。
 - ◇ たまに「おはなし」をしているときに、親同士がたまに大声で話しはじめる（私語）。
 - ◇ コロナ対策で、子どもたちが机・椅子・自席で聞くので、広すぎて、高さも難しい。
 - ◇ コロナ禍で、1年生のおはなし会ができなくなった。
 - ◇ マスクをつけたまま話すのは、けっこう苦しい。ニュアンスが出しにくい。
 - ◇ 近くでのおはながしにくく、声が通りにくい。
 - ◇ 先生の雰囲気によって、顔をうかがっていて、本に集中できないクラスがあるとき、さみしい。
 - ◇ おもしろい本を読んでいて、反応がうれしいのですが、先生が「笑わない！静かに聞きなさい！」とおっしゃり、みんなしょぼんとすること。
 - ◇ おはなし会は高学年に来てもらえない。
 - ◇ 月1回のおはなし会、クリスマス会ができなくなった。

困っていることを解決するアイデア

- ◇ 学校・保育園と連携を図り、おはなし会の日程をお知らせする。(地域)

- ◇ お孫さんの年齢にもよります。遊んだ後、読んでやってはどうか。
- ◇ 年齢関係なし。何でも良し。

- ◇ お話のあとの手遊びなどを教えてほしい。
- ◇ 読み終わったら、「おしまい」で終わって大丈夫！
- ◇ 若い人はなかなか、OBでがんばる。

- ◇ 絵がはっきりしてカラフルな絵本だと話しかけるようにゆっくりと呼んで（目と目、顔と顔を合わせて）

- ◇ 1人1人が楽しくリラックスできる読み聞かせにしたい。
- ◇ 姿勢は崩れていても良いことを事前に伝える。
- ◇ こうでないといけないという形でなく、楽しんだらいい。
- ◇ 先生、静かに背スジ伸ばしてキチントと子どもに注意しないでください。
- ◇ 話のはじめに、「おもしろいときは、笑ってね～」と言うことで、先生方の静止を事前にとめる。